



平成 21 年 8 月 12 日

各 位

会 社 名 カルナバイオサイエンス株式会社
代表者名 代表取締役社長 吉野 公一郎
(コード番号：4572)
問合せ先 取締役 経営管理本部長 相川 法男
(TEL. 078-302-7039)

CDC 7 キナーゼを標的とした癌治療薬の共同研究の開始に関するお知らせ

本日、添付のプレスリリースを發表しましたので、お知らせいたします。
なお、本共同研究による、当社の業績に与える影響は現状輕微です。

以 上

平成 21 年 8 月 12 日

報道関係者 各位

SBI バイオテック株式会社
カルナバイオサイエンス株式会社

CDC 7 キナーゼを標的分子とした癌治療薬の共同研究の開始に関するお知らせ

SBI ホールディングス株式会社の創薬事業子会社である SBI バイオテック株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：新井賢一、以下「SBI バイオテック」）と、カルナバイオサイエンス株式会社（本社：神戸市中央区、代表取締役社長：吉野公一郎、以下「カルナバイオサイエンス」）は、このたび、CDC 7-ASK（以下「CDC 7 キナーゼ」）を標的分子とする癌治療薬の創製を目的とした共同研究（以下「本共同研究」）を開始しましたので、お知らせいたします。

CDC 7 キナーゼは、細胞周期を制御する重要なタンパク質であり、CDC 7 キナーゼを不活性化すると染色体の不安定化を引き起こし、癌細胞では顕著な細胞死が起こります。このことから CDC 7 キナーゼは癌の治療における標的分子と考えられ、注目されています。

本共同研究では、SBI バイオテックの有する CDC 7 キナーゼ、ならびに関連するシグナル伝達経路研究の最先端の科学的な知見と、カルナバイオサイエンスの有するキナーゼ阻害薬研究に関するノウハウ等を結集させることで、CDC 7 キナーゼを選択的に阻害する、新たな癌治療薬候補化合物の早期創出を目指します。

SBI バイオテックは、代表取締役社長を務める、分子生物学、分子免疫学の第一人者の新井賢一等によって設立された、生命科学に基盤をもつバイオベンチャー企業であり、新たな医薬・健康産業（システム融合医学）の創造を目指しています。

一方、カルナバイオサイエンスは、キナーゼにフォーカスして創薬支援事業（350 種類を超える研究用キナーゼタンパク質の製造・販売、およびプロファイリング受託サービス“QuickScout®”の提供等）、および創薬事業（キナーゼ阻害薬の創製）を展開するバイオベンチャー企業です。特に、創薬支援事業は、日本をはじめとして、北米、ヨーロッパおよび中国等、世界的に事業を展開しています。

なお、SBI バイオテックとカルナバイオサイエンスは、Crystal Genomics, Inc.（韓国）との間において、本共同研究に先立って類似の研究を進めておりましたが、当該 3 社間の共同研究が終了したことに伴い、今回新たに SBI バイオテックとカルナバイオサイエンス間にて本共同研究を進めていくこととなりました。

SBI バイオテックとカルナバイオサイエンスは、両社がこれまでに培ってきた技術を駆使して新たな癌治療薬候補化合物の早期創出を目指し、病気で苦しむ患者の方々に有効な治療薬を提供できるよう、努めてまいります。

以 上

(ご参考)

1. 用語解説

キナーゼ : 人が癌、炎症、リウマチなどの病気になると、体の中では細胞の異常な増殖、分化が起こる。この原因と考えられている分子の一つに、細胞内外の情報伝達をつかさどるキナーゼと呼ばれる酵素がある。キナーゼとは、基質にリン酸基を転移してリン酸化物を生じさせる酵素（タンパク質性触媒）の総称であり、その中でも基質となるタンパク質にATPリン酸基（＝アデノシン3リン酸の末端のリン酸基）を転移する酵素は「タンパク質キナーゼ（Protein Kinase）」と呼ばれている。人の体の中には518種類のタンパク質キナーゼが存在することが知られている。

QuickScout® : カルナバイオサイエンスの提供するキナーゼの網羅的な阻害活性評価サービス。カルナバイオサイエンスではキナーゼ活性を指標にしたアッセイとして、世界で最も多い292種類のキナーゼに対するプロファイリングが可能（平成21年8月12日時点）。リード化合物を最適化する過程で、ターゲットキナーゼ周辺のキナーゼだけでなく、他のキナーゼに対する阻害活性を明確にすることは重要とされている。化合物の最適化プロセスに必要な選択性情報（プロファイリング情報）を迅速に提供するために、各種の代表的なキナーゼ、20～30種に対する簡易プロファイリングパネルをはじめ、様々なカスタムサービスが用意されている。

2. SBI バイオテックの概要

- | | |
|---------------|---|
| (1) 名 称 | SBI バイオテック株式会社 |
| (2) 代 表 者 | 代表取締役社長 新井 賢一 |
| (3) 所 在 地 | 東京都港区白金台四丁目7番4号 |
| (4) 設 立 年 月 日 | 平成13年3月30日 |
| (5) 事 業 内 容 | 医薬品の研究・開発および健康食品の研究・開発・販売 |
| (6) ウェブサイト | http://www.sbibiotech.jp |

3. カルナバイオサイエンスの概要

- | | |
|---------------|---|
| (1) 名 称 | カルナバイオサイエンス株式会社 |
| (2) 代 表 者 | 代表取締役社長 吉野公一郎 |
| (3) 所 在 地 | 神戸市中央区港島南町1丁目5番5号 |
| (4) 設 立 年 月 日 | 平成15年4月10日 |
| (5) 事 業 内 容 | キナーゼ阻害薬の創薬基盤技術を用いた製品・サービスの販売（創薬支援）および医薬品の研究・開発（創薬） |
| (6) ウェブサイト | http://www.carnabio.com |

【本件に関するお問い合わせ先】

SBI バイオテック株式会社
研究開発部 CDC7プロジェクト担当
TEL：044-788-6463

カルナバイオサイエンス株式会社
経営管理本部 経営企画部 IR担当
TEL：078-302-7075